

令和7年度 岩手県立大学宮古短期大学部  
学校推薦型選抜・社会人選抜

小論文 解答例・出題の意図等

**【問題全体についての出題の意図】**

読解力・思考力・表現力を総合的に評価する。社会に対する関心を問うとともに、出題文に登場する「オーバーツーリズム（観光公害）」について、インバウンドにおける経済的メリットと弊害の双方の側面から問題を理解し、設問の趣旨に沿って自分の意見を論じることが求められる。

〔問1〕

■解答例

観光スポットでの外国人観光客による過剰な混雑を防ぎ、住民からの苦情に対処する取り組みがなされた。観光客の増加による住民生活の脅かしをオーバーツーリズムといい、各地で問題となっている。観光客の増加は日本経済にとって利益となるため、観光業と住民生活との調和が課題となる。各自治体は、観光客の交通整理や交通機関の充実、および宿泊税等の導入による観光客増加の抑制など、対策を開始し、その対策は増加傾向にある。(200字)

■評価のポイント

出題文で取り上げているオーバーツーリズムに対するメリット・デメリットを出題文から適切に要約し、それぞれの内容について適切に表現できることが求められる。

〔問2〕

■出題の意図・ポイント

出題文にあるオーバーツーリズムを適切に理解し、インバウンドと住民の生活との調和を、どのように折り合いをつければよいのか、自分なりに考えたことを適切な文章で表現できているかが評価のポイントとなる。その際、明瞭な論旨を持って、論理的かつ説得力のある文章で述べられていることも問うている。